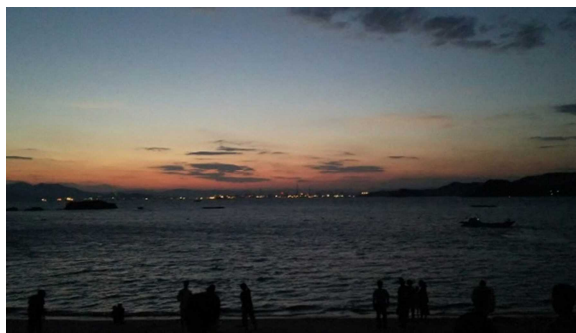
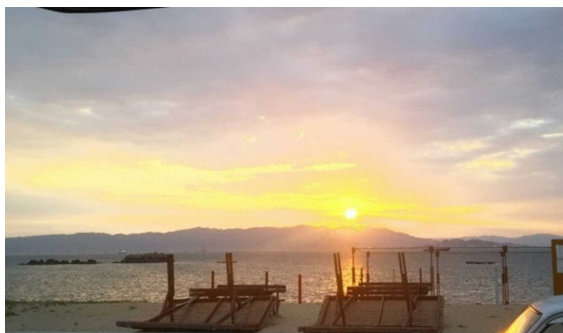


白石踊後継者育成事業 白石踊会笠岡支部 今月の活動

令和元年 8 月 16 日 白石島のお盆の行事の様子です。

8 月 16 日に白石島で午後 19 時から開催されたお盆の行事に白石踊会笠岡支部の会員と中学生・高校生数名が参加しました。あいにく、白石島に帰省していた方々が台風 10 号の影響で交通機関が乱れることを懸念し早めに島を出立したり、前日まで交通機関がマヒしていましたので観光客の方々にも影響があったりしたようで、今年の参加者は例年に比べると少ない印象です。

しかし、ご先祖様をお送りする白石島のお盆を島民の方と私たち支部会員と一緒に砂浜で踊ることで味わうことができました。



美しい夕陽。夕刻から法要と灯籠流しがあり、その後に白石踊になりました。

灯籠は船に乗せて沖で流します。例年は海上に灯籠の灯火が揺れるのですが、今回は波が強くろうそくの灯がすぐに消されたようです。





7月の白石踊ツアー同様、口説き（音頭）の歌い手や踊り手が次々と入れ代わり立ち代わり延々と続く本来の白石踊を今回も体験できました。

今回の盆行事の感想を高校生が書き、山陽新聞社に掲載されました。

（令和元年8月30日 山陽新聞朝刊 転載許可済み）

笠岡・白石踊の継承必要

吉真沙希 高3
（笠岡市）

私は、8月16日に笠岡諸島の白石島のお盆の行事に参加しました。白石島には源平合戦以来800年以上続く白石踊（国指定重要無形民俗文化財）が伝わっています。私は高校生の仲間とともに白石踊を習い、継承する活動をしています。今回は初めて実際の島のお盆でした。

夕日を望む砂浜に島内外から多くの方が集い、法要と灯籠流しが行われました。その後、踊りの輪の中に入れ代わり立ち代わり入って踊り続ける本来の白石踊を経験することができました。白石踊には手拍子はない代わりに、合掌のポーズで供養を表します。観光客も踊りの輪に招き入れて一緒に踊る包容力があります。今回も全くの初めてという方々が一緒に踊りを楽しんでおられました。

踊りの輪の外で休憩していた年配の方々が「若いもんが参加してくれてうれしい」と話されていたのが聞こえて、私たち若者がしっかり継承する必要があると再確認しました。白石踊を習う人が増えることを願っています。

Y
O
U
N
G
ヤ
ン
グ

次回の定期練習会は、令和元年9月 7日（土曜） 19：00～20：30

令和元年9月 14日（土曜） 19：00～20：30

9月から定期練習会は月2回ずつ開催します。

笠岡市中央公民館（笠岡市笠岡 1866-1）で行います。無料。

以上